

和歌山病院での実習を終えて



藤原 有希

4月10日と11日の2日間、和歌山病院で実習をさせていただきました。和歌山病院では結核患者のための空気感染予防室を見せていただいたり、NPPVの体験をさせていただいたりと普段できない経験をすることができました。先生方の講義では、今まで深められていなかったレントゲンの読影や結核の感染予防といったことに関して、表面的なことだけではなくその原理から考える機会を与えていただきました。呼吸器の実習が本格的に始まる前にレントゲンや感染経路の考え方を先生方から学べたことは、その後の実習を送る上でとても有意義でした。苦手だった画像の読影が完璧にできるようになったわけでは決してありませんが、これまでは他の先生が読影した内容をただ追うだけだった画像を今では自分でどこが異常なのか毎回考える習慣ができました。和歌山病院ではこれから呼吸器疾患を見る上で必要な考え方を身に付けることができたと感じています。

素晴らしい講義をしていただいた先生方、呼吸管理について教えていただいたコメディカルの方々、本実習に関係していただいた事務の方々、本当にありがとうございました。とても充実した2日間でした。